

明るく元気の出る町

平成9年10月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1997

10

NO.511



自然の豊かさ実感 八塩小「水辺の教室」より



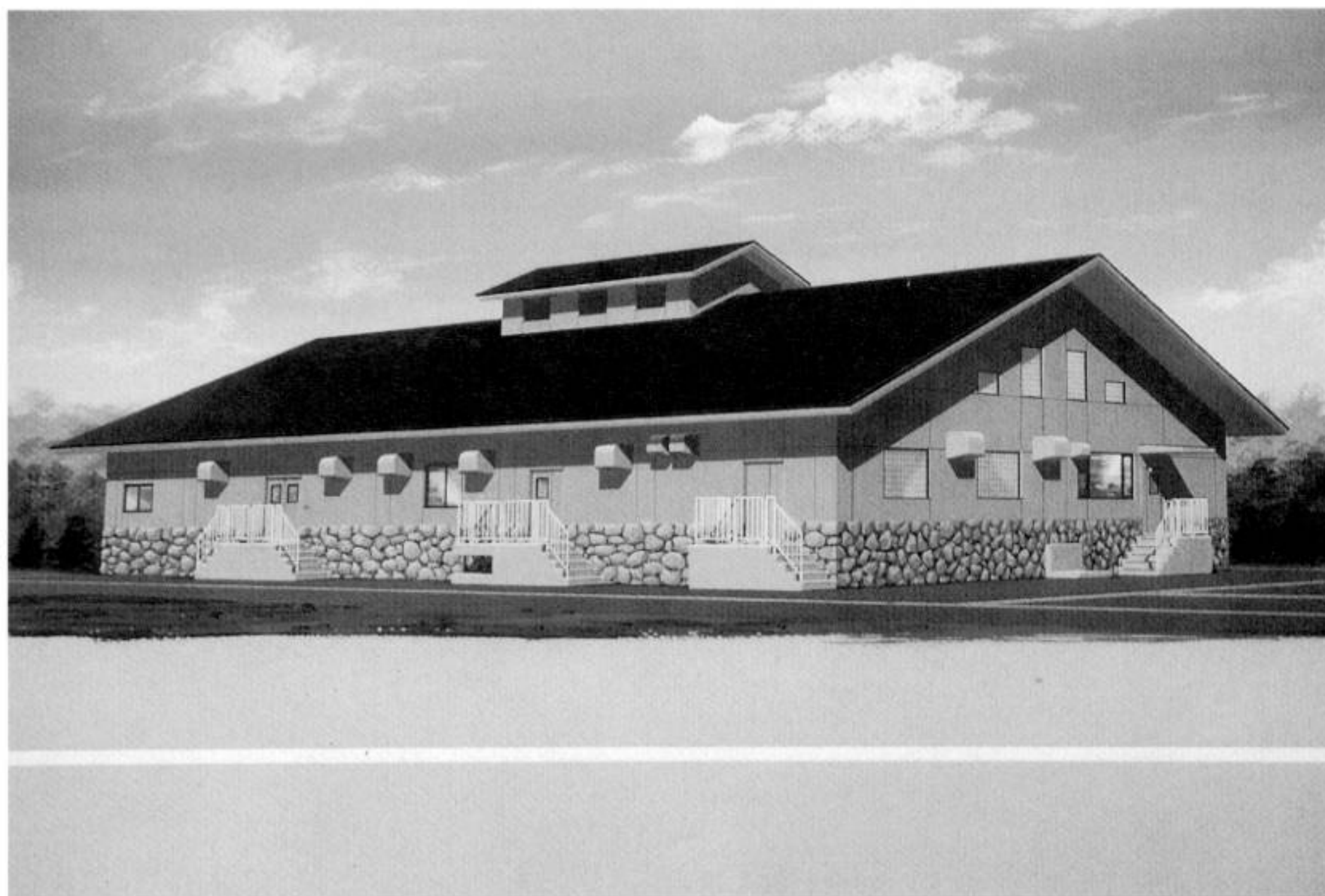
笑顔でむかえた金婚式



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

きれいな水で快適な農村づくり

老方・館合地区終末処理場建設工事始まる



▲老方飛鳥田地区に設置される老方・館合地区終末処理施設の完成予定図

老方地区で

同時に管工事

山紫水明の里づくりはきれいな水から・・・と平成八年度から始まった農業集落排水事業。

昨年度は管工事が行われましたが、本年度は管工事と同時に、老方と館合地区の終末処理施設の建設が行われます。

施設は老方字飛鳥田四六番地に建設されるもので、敷地面積は四、一四三平方メートル、建屋面積が五三四平方メートルになります。

この施設では、し尿及び雑排水を対象汚水とし、老方・館合地区約二千八百五十人を計画処理対象人口に、一日当り平均七六九・五立方メートルの汚水进行处理する予定です。

また本年度の管工事は両前寺線と老方地内国道沿線、新町、台山周辺で行われます。

安心して生活できる環境整備の一環である農業集落排水事業にご理解とご協力を願います。

全体配置図

位 置：老方字飛鳥田46番地
敷地面積：4,143 m²
建屋面積：534 m²



▲施設内全体配置図

●農業集落排水緊急整備事業

第〇八二〇一号工事（建物）

▼施設構造

鉄筋コンクリート平屋建

▼建築面積

五六二・四平方メートル

▼工期

平成十年三月二十日

終末処理場工事の安全を祈願する

終末処理場建設工事起工式及び安全祈願祭

八月二十五日、老方飛鳥田地内終末処理場建設地において、終末処理場建設工事の起工式及び安全祈願祭が行われました。

当日は用地関係者をはじめ関係者ら六十人あまりが出席、工事の順調な進捗と安全を祈願しました。

式では工事の安全を祈り、神事が行われ、阿部幸悦町長をはじめ工事関係者らが鍬入れを行いました。

きれいな水で快適な生活を・・・施設の完成が待たれます。



▲阿部幸悦町長による鍬入れ

町長日記

村岡先生の

官房長官ご就任を祝う

この度の第二次橋本内閣の発足に伴い、その大番頭の役割になる官房長官に村岡先生がご就任されました。心からなるお祝いを申し上げます。先生のご就任で秋田県からは、根本先生、石田先生に続いて三人目ということになります。大変な役割であります。お体には気をつけられて重責をまっとうされますよう心からご

祈念申し上げます。

二十一世紀が目前であります。第二次世界大戦後すでに五十二年が経過致しました。いろいろな課題が山積しております。ここ何年間で総理大臣も何人も替わり新しい価値観を模索し続けているところでもあります。自民党一党の政権ではなく、かつての主義で対立する政党同士が連立を組んで政権を構成している事でもあります。それほど価値観が複雑化しているというかまた複眼化しているというところでもあります。

村岡先生は国会対策委員長を三回も経験され、歴代最長の委員長記録

10月1日から7日まで 全国道路標識週間

10月1日から7日までは、全国道路標識週間です。

道路標識は、道路交通に関する適切な情報を提供し、道路を安全・快適・円滑に利用するための重要な施設です。

標識週間は、道路標識をより利用しやすく有効に活用していただくために実施されるものです。

道路標識についてご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。

【連絡先】

- 建設省秋田工事事務所
本荘国道維持出張所 22-8558
- 秋田県由利土木事務所 22-5438
- 東由利町役場建設課 69-2115



をもっておられます。培われた抜群の調整能力を発揮されて国内外に山積する課題の解決を図られますよう心から期待するものです。

輝かしい二十一世紀の日本にするためには行財政構造改革、地方分権など待ったなしといわれます。永年慣れ親しんできた制度を変えて行くということは大変なことでもあり、強い意志と忍耐力が必要なことです。それを大きく期待される政権の大番頭でありますから想像を絶する役割を受け持たれることです。

さっそく、本来の仕事が始まる前に、大臣の更迭騒ぎなどがあり、高

かった橋本政権の支持率が大きく落ちこんだ後始末なども、村岡先生のお仕事の一つになることでしょう。なかなか難儀な事でもあります。

これからは事ほどさように、秋田県、由利郡、本荘市の範囲を越えて、日本国としてどうするのかという視点が多くなることです。地元支持者としては少々寂しい気持ちもするのですが、私たち秋田県の代表が、日本の現在及び将来の為に大きな仕事をしていく姿を見せてもらえるのも大きな楽しみでもあります。村岡先生のご健勝を祈念致します。



▲議会定例会の様様

8 年度決算認定

町民一人
あたり
86万円
支出

一般会計歳入歳出決算、実質収支で

一億二千七百四万三千円の黒字に

第五回町議会定例会

第五回町議会定例会は九月十日に召集され、平成九年度一般会計補正予算など三議案を原案通り可決、平成八年度一般会計及び七特別会計決算認定案を認定しました。

十日の本会議では、会期を二十五日までの十六日間と決めた後、阿部幸悦町長の行政報告、三氏の一般質問に引き続き平成九年度一般会計補正予算など三議案を原案通り可決、平成八年度各会計決算認定案などを各委員会に付託しました。

十一日から委員会審議を行い、最終日の二十五日、教育委員会委員の任命につき同意を求めることについてなど三議案を原案通り可決、平成八年度各会計決算を認定し閉会しました。

一般会計

決算の内訳



平成八年度決算の概要

◆一般会計歳入歳出決算概要

一般会計決算額は、歳入総額が四十七億四千七百八十四万三千円で、前年度に比べ六億八千五百三十三万円の減、歳出総額が四十六億一千八百八十六万四千円で六億五千九百六十六万五千円の減となり、歳入歳出共に一二・五パーセントの減となりました。これにより形式収支は一億三千五百九十七万九千円の黒字、翌年度への繰越財源を除いた実質収支でも一億二千七百四万三千円の黒字となりました。

歳入においては、町財政の基盤となる町税が歳入総額の六・四パーセント、三億五百三十四万三千円で、事業の計画的遂行の原動力となったことに對し、納税に對する町民のご理解と関係各位の努力に敬意を表するものであります。

一方、歳出においては、人件費・扶助費・公債費（繰上償還分五千四百七十六万三千円を含む）を合わせた義務的経費が前年度より一億一千二百二十一万六千円（八・四パーセント）増の十四億四千六百四十七万六千円となり、これに物件費・維持補修費・補助費等を加えた経常的経費は、歳出全体の四九・五パーセントまで上昇し硬直化が進んでいます。

今後、長期的な展望に立った財政計画のもとに、町民と喜びや痛みを分かち合い、自信と誇りをもって住める町を築いていきます。

一般会計決算（町民一人当たりの内訳）

歳 出
863,807円
(単位：円)



歳 入
889,276円
(単位：円)



特別会計決算 (単位：千円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引
国民健康保険事業勘定特別会計	488,423	457,350	31,073
老人保健医療事業特別会計	653,321	656,032	△2,711
簡易水道事業特別会計	192,967	189,098	3,869
農業集落排水事業特別会計	619,750	619,743	7
特別養護老人ホーム東光苑特別会計	256,082	233,840	22,242
大平スキー場運営費特別会計	20,281	20,194	87
玉米財産区特別会計	3,657	2,561	1,096

◆特別会計歳入歳出決算概要

●国民健康保険事業勘定特別会計●

前年度に比較して歳入総額で〇・一パーセント減、歳出総額では〇・三パーセント減となっています。

歳出では、総額の七〇・一パーセントにあたる三億二千六十七万六千円を保険給付費、二三・四パーセントを老人保健拠出金で占めており、特に老人保健拠出金は前年度に比較し、六百七十六万一千円増加し、国保財政圧迫の要因になっています。

●老人保健医療事業特別会計●

歳出で、医療給付費が前年度より七・三パーセント多い六億四千六百一十四千円となっており、高齢者増に伴う医療費の増加は今後も続くものと推測されます。

●簡易水道事業特別会計●

前年度に比較して、歳入総額で、三六・二パーセント増、歳出総額では四六・八パーセント増となっています。歳入では使用料が歳入総額の四〇・四パーセントを占めています。

歳出では、老方地区の溜水解消のため、一部配水管布設工事を行った他、農業集落排水事業に併せて、老朽化した配水管の布設替えを行いました。施設の老朽化に伴う基幹的改良事業を九年度から実施しており、経営の合理化と有収率の向上に配慮し、一層の安定給水に努めてまいります。

●農業集落排水事業特別会計●

老方・館合処理区初年度工事は順調に行われ、その財源として全体の五七・七パーセントにあたる三億五千七百七十五万円を一般会計からの繰入金、九千四百八十万円（一五・三パーセント）を県補助金、その他下水道事業債を一億六千七百二十万円起債して事業に充てました。

●特別養護老人ホーム東光苑特別会計●

前年度に比較して歳入総額で二・三パーセント減、歳出総額で二・八パーセント増となっています。

歳入では、一般会計からの繰入金が一億六千七百九十五万六千円となり、全体の六五・六パーセントを占め、歳入の伸びはほとんど人件費であり、マシパワーを生かした質の高い福祉サービスを提供し、高齢者福祉の向上に寄与しています。

●大平スキー場運営費特別会計●

歳入総額で前年度より三・四パーセント増となっていますが、事業収入は前年度より六・四パーセント落ち込み、その不足分は一般会計からの繰り入れにより賄っています。今後、利用状況を的確に把握しながら運営の改善に努めてまいります。

●玉米財産区特別会計●

立木売却収入が歳入総額の七五・二パーセントを占め、歳出では一般会計へ二百六十万円を繰り出し六郎沢地区林道整備費に充てています。

各事業合同竣工式、十一月に挙行予定



町長行政報告

●携帯電話の中継局が 建てられる見通し●

NTT東北移動通信網株式会社は本町に中継局の建設計画を具体化し、現地調査を実施したとの内報を得ました。エリアは道の駅を中心とした町中心部に限定されることになるようであり、ます。

建設地が決定しますと、郵政省への事業認可申請を行い、順調に進捗すれば来年夏までには供用できる見通しのようにあります。

また、同社が横手・本荘間にマイクロウェーブの中継鉄塔を建てる計画も同時進行させているということでもあります。

●十一月に 合同竣工式を予定●

昨年度から二カ年継続事業で本年六月に完成、七月十九日からオープンした地場産業センターと平成二年度から実施した林業地域総合整備事業による林道六路線、平成四年度から実施した団体営農道六路線の合同竣工式を十一月七日に挙行したい予定であります。

●秋田ルビコン 第三工場建設に着手●

秋田ルビコン株式会社が操業十三年目の本年、年内の完成を目指して第三工場の建設に着手しております。

町民の就労の場の拡大、町の活性化に資するところ極めて大きいものと歓迎しております。

迎し、また期待も大きくして一層の発展を祈念しているところであります。

●AAB（朝日放送） 電波送信開始十月から●

テレビ難視聴地域解消事業としてAAB中継局敷地造成工事を五月二十九日着工し、八月二十九日完成しました。なお、AAB受送信の塔及び局舎について九月完成予定でありましたが、局舎内の放送機器製造で完成が遅れております。

放送開始十月十五日の予定で進められており、対象集落は高戸屋、山崎、野田など二十三集落、七百三十三戸、二千六百三十五人です。

同時に松柴TV難視聴地域を解消するため、共同受信施設工事を着工しました。完成後、本地区は「松柴地区テレビ共同受信施設組合」のもとに管理運営されることになります。

●「ぶれっそ」に 高い評価●

平成八年から九年度の二カ年継続事業で地域活性化拠点整備事業として進めてきた「地場産業センター」が七月十九日にオープンしました。

「ぶれっそ」という名前も町民の皆様に馴染み、知れ渡っているようであります。

開店が、お盆を控えての盛況期とも重なりましたので、多くの人々が利用しました。

町外からの利用者も結構目立っております。

り、町内外を問わず、利用者からは感じがよいという評価の声が聞こえてきております。この利用状況が持続するように願っているところであります。

●本年度の作況は 豊作見込み●

平成九年度転作配分面積（ガイドライン）は二百四十五・九ヘクタールで春確認面積が二百四十八・九ヘクタール、転作率一〇一・四パーセントとなっております。

また作況見込みについては、東北農政局秋田統計事務所八月二十五日発表によれば県平均一〇〇（平年並）、全国平均一〇二（やや良）、由利地区一〇一の豊作見込みとのことであります。

●クマの 危害防止に万全を期す●

クマの異常出没に対し、人命第一と考えて危害防止に万全を期しているところであります。

出没箇所六箇所に対して注意看板十二箇所設置、チラシの全戸配布、広報車などによる広報のほか、八月二十日には緊急対策会議を開催、二十三日から九月二十一日までの三十日間、有害駆除許可を受けたところであります。

●森林組合に 保育作業一部委託●

直営作業班の人数減により本年施行計画の一部（間伐十四ヘクタール）を森林組合に委託することになりました。

三氏による一般質問

佐々木長円議員

■我が町の人口は減少の一途である。人口増に工夫すべきでは。

●町営住宅の設置、分譲宅地の造成、働く場の確保など人口の減少率を下げる施策に努力していく。

■若者定住促進施策をもっと積極的に推進すべきと考えるが。

●若者定住促進施策にいろいろ取り組んでいるが、資金の貸付もその一環である。しかし、お祝いという考えでもあり、これがベストということではなく今後とも議論して行きたい。

■新防災計画書の町民啓蒙状況と阪神淡路大震災の教訓をどう生かすか。

●担当者の手引きであり、町民に配布宣伝するというものではない。時々広報などで啓蒙するが、自分の生命は自ら守るのが基本でもある。

■休耕田の利活用により農業所得の向上を考えるべきではないか。

●専業農家は約五パーセント。農家が農業のみに力を入れる状況にはないが、推奨品目を支えていきたい。

■町道の管理を今以上に望みたい。

●町道は二百六十二キロあまりあるが、出来る限りの管理をしている。ご理解願いたい。

■学校週五日制による現在の実態は。

●体育、文化的なサークルを実施しており格別問題はない。家庭や地域と協力しながら進めていきたい。(教育長)

小松義嗣議員

■活性化拠点施設の第二次事業の見通しはどうなっているか。

●地場産業施設の完成で第一次事業は完了した。第一次事業の効果を見て、次の段階を検討していきたい。

■高齢化社会にともなう今後の介護支援策のあり方は。

●安心して年をとれる仕組みをつくりながら、保健指導の充実や冬季、季節ヘルパーなど検討している。

■庁舎建設基金状況と建設予定地を示し議論したらどうか。

●手狭になっているが、基金準備や町村合併のことなどもあり、もう少し時間をいただきたい。

■高齢者に適した就業の場の提供が必要ではないか。

●行政で位置づけるのは疑問。個人個人の生きがい力をいれていただけたらと考える。

■心の教育について我が町にあつてはどう展開していくのか。

●心の教育は体験活動が基本。本町では各種体験活動に熱をいれている。

地域・家庭などが協力し、様々な機会に問題提起を願いたい。(教育長)

■工事の発注が遅れ積雪期の工事になることが多い。早期発注はできないか。

●補助事業が多い本町。国の予算関連もあり遅れてしまう。

補助事業に関して十分な工期をとれる事業実施に努力していきたい。

小野健議員

■「地方分権の受け皿づくり」としての市町村合併に対しての考えは。

●戦後五十年新しい行政システムを模索している段階。これから議論が始まっていく。

住民福祉を損ねない方法を望みながら、個性ある町をつくっていきたい。

■ダイオキシンの法規制が行われる。本町ではどうか。また各施設のゴミ焼却対策は。

●各地の焼却施設で問題が発生している。幸い由利本荘地区の施設では問題がないようだ。

家庭・企業ではなるべくゴミは焼却せず、分別回収を呼びかけるなど考えていきたい。

■今秋の臨時国会でサッカーくじ法案が審議されるが法案に対する考えを。

●国会の議論推移をみたい。

■下水道事業の県代行制度を活用すべく協議会を設立したが、その内容と計画は。

●十五町村が参加。県に下水道事業代行要望を行っていく団体。本町では農集排事業を行っており、恩恵はないが、加えていただいている。

■米価、秋田こまち第二類格下げなど農家が心配している。この状況に対する考えは。

●大変心配している。米が余ること米価が下がり、減反、減反率の強化につながっていく。主要食料については国として考えていくべきときと考える。

主な議案内容

九月定例議会には、六議案が提出され、全案件原案どおり可決されました。

▼九年度各会計の補正予算

◆一般会計補正予算(議案第一、六号)

平成九年度一般会計に七千三百九万九千円を追加し、歳入歳出の累計を四十二億五千七百二十四万四千円としました。

主なものは、▽県営土地改良整備事業(道路二路線、用排水路二十四箇所)負担金九百五十五万五千円▽高齢者世帯への除雪サービスに対しての補助金六十五万八千円▽土木施設災害復旧費四千七百五十四万五千円などです。

◆老人保健医療事業特別会計補正予算(議案第二号)

平成九年度老人保健医療事業特別会計に七万九千円を追加し、歳入歳出の累計を七億一千二百二十七万六千円としました。

◆玉米財産区特別会計補正予算(議案第三号)

平成九年玉米財産区特別会計に二十三万八千円を追加し、歳入歳出の累計を百二万四千円としました。

▼教育委員会委員に三氏(議案第五号)

教育委員会委員任期満了に伴い、畠山卓三氏(六二・袖山)、伊藤彦舟氏(四六・蔵)を再任しました。

▼本荘由利広域市町村圏組合規約の一部変更(議案第四号)

四十五組のご夫婦が金婚を

共に過ごした50年に感無量

平成9年度 合同金婚式

金婚おめでとうございます

() 内は九月一日現在 満年齢 (敬称略)

佐藤 公一 (75) ・ サツ子 (68) 【大吹川】	島山 年男 (73) ・ ウメヨ (70) 【大吹川】
島山与三郎 (72) ・ カメヨ (78) 【地下ノ沢】	長谷山卯之吉 (69) ・ ヒ デ (69) 【向 田】
横山 廣一 (71) ・ チヨミ (68) 【向 田】	佐藤康一郎 (76) ・ 歌 子 (75) 【田 代】
佐藤銀一郎 (79) ・ 文 (72) 【田 代】	横山 直吉 (69) ・ サツ子 (70) 【石 高】
佐藤 清一 (73) ・ キ エ (71) 【袖 山】	小野惣一郎 (73) ・ イサオ (69) 【袖 山】
島山 親保 (72) ・ 榮 (71) 【袖 山】	小野 要造 (77) ・ ミ エ (73) 【下小路】
小松榮太郎 (75) ・ 景 子 (69) 【八日町】	八嶋耕二郎 (77) ・ ミ ネ (75) 【五海保】
大場 留七 (72) ・ 一 二 三 (73) 【久 保】	小松 四郎 (70) ・ ハ マ (68) 【久 保】
島山信太郎 (70) ・ 進 (68) 【館合新田】	畑山 吉光 (75) ・ 添 (70) 【館合新田】
小野 巖 (68) ・ 久 子 (68) 【須郷田】	小松 光清 (75) ・ ユ リ (70) 【須郷田】
工藤 正一 (76) ・ ア イ (72) 【新 町】	遠藤 三郎 (75) ・ アヤ子 (73) 【新 町】
佐藤 佐市 (72) ・ キ ヨ (69) 【新 町】	島山 菊一 (73) ・ ツ キ (69) 【下 通】
菊地 常作 (82) ・ チ ヤ (72) 【湯出野】	遠藤 忠蔵 (73) ・ キエノ (74) 【祝 沢】
小野 金蔵 (75) ・ ウラ子 (73) 【上 里】	小野 勝造 (66) ・ シ モ (66) 【上 里】
小野豊二郎 (73) ・ ミサヲ (71) 【横 渡】	木島 藤松 (73) ・ リツ子 (70) 【岩 館】
佐藤 俊男 (78) ・ リ エ (71) 【 蔵 】	畑山 運治 (72) ・ スエノ (70) 【 島 】
遠藤作治郎 (77) ・ ヒロエ (72) 【桂 台】	遠藤慶之助 (74) ・ ミサエ (68) 【桂 台】
遠藤 兵一 (77) ・ アヤ子 (69) 【小 倉】	遠藤 時男 (70) ・ ワ カ (67) 【小 倉】
遠藤 松志 (71) ・ 貞 子 (67) 【小 倉】	佐々木 進 (77) ・ キミ子 (72) 【大 琴】
浅田 長治 (73) ・ 光 子 (70) 【船 木】	畑山 清一 (73) ・ タ エ (70) 【下 吹】
遠藤 賢一 (73) ・ カツ子 (67) 【 宿 】	遠藤富治郎 (71) ・ トキヨ (70) 【 宿 】
木島直三郎 (68) ・ キミヨ (68) 【大 台】	木島 錦市 (70) ・ ナ ツ (68) 【大 台】
阿部 清喜 (74) ・ エ 子 (68) 【大 台】	



▲終始和やかな雰囲気だった合同金婚式

戦後の混乱がまだおさまらない昭和二十二年。この年に結婚した四十五組の夫婦を招待した平成九年度の合同金婚式が有鄰館で開かれ、このうち三十八組が出席しました。

式典では、阿部幸悦町長が「日本が大変な時代に結婚され、町の基礎をつくられてきたご苦労にまずはお礼を申し上げたい。日本も大変な改革をしながら二十一世紀に向かっていく。今後とも町づくりを支えていただきたい」とあいさつ、その後一組一組に祝い状と記念品を手渡し、金婚を祝いました。

祝い状を受け取った出席者らは共に過ごした五十年の歳月を振り返りながら感慨無量のように話した。

祝宴では、ご夫婦同士で杯を



▲阿部幸悦町長から一組一組に祝い状と記念品が

酌み交わしながら、思い出話を語り合っていました。

最後に「五十年たっても妻はいいものですな」と謝辞を述べた遠藤兵一さんの言葉が、出席したご夫妻の五十年を物語っていたようでした。



▲祝宴では思い出話も

昭和22年はこんな年でした

五月三日 日本国憲法施行
七月十三日 登呂遺跡発掘再開
八月九日 古橋広之進水泳四〇メートル自由形で世界新樹立
九月十四日 東北地方でキャスリーン台風猛威をふるう
十月一日 臨時国勢調査
(総人口七八二〇万一千四百七十三人)
十月十一日 東京地裁判事・山口良忠、闇食料を拒否し餓死
●流行語「青空教室」「真相」

県畜産共進会で、高橋定雄さんの肉牛最高賞に

第八十六回秋田県畜産共進会が河辺町県中央家畜市場で開かれました。

共進会二日目の九月六日、肉用牛（繁殖、肥育）の部、乳用牛の部で審査を行い、肉用牛の部において、館合新田の高橋定雄さん（七一）の黒毛和種、高等登録群（十六カ月以上）が、最高賞である農林水産大臣賞に選ばれました。高橋さんは今回初めて、最高賞受賞に輝きました。

第86回秋田県畜産共進会



▲喜びの高橋定雄さん

この秋田県畜産共進会は、各郡の畜産共進会で上位入賞した牛が一堂に会し、審査を受けるものです。

当日共進会に出陳された牛は、肉用牛が七十二頭（うち繁殖牛五十二頭、肥育牛二十頭）、乳用牛三十一頭。

本町からは肉用牛八頭、乳用牛四頭の合計十二頭が出陳されました。

高橋さんが農林水産大臣賞に選ばれた高等登録群は、繁殖性及び産肉性など、全国和牛登録協会の厳しい基準をクリアしたレベルの高い牛、三頭一組で出陳するもの。

高橋さんが出陳した三頭には「発育が良く、体のバランスも良好である」との

高い評価が下されました。

由利牛の里として名高い本町だけに、上位入賞が期待されていましたが、農林水産大臣賞に輝いたのはこれが初めてのこと。高橋さんを始め、関係者ら一同喜び合いました。

なお、上位入賞牛として肉用牛繁殖雌牛群（「ふくこ」小野邦一さん、「さくら」小野長兵衛さん、「はるみ」小野眞一さん）が優等賞に、乳用牛未経産（二十四か月未満）で畑山克司さんの「ウィロー ロマンズ エンペリアル クイーン」が優等賞に、同経産（二十四か月以上）で畑山克司さんの「ウィロー ロマンズ ラッキー サンデー」が優等賞と農林水産省畜産局長賞に選ばれています。

畜産の町、東由利。今後、なお一層の飛躍が期待されます。

十月家畜市場

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
雌	13	259kg	302,481	1,168
去勢	23	297kg	434,198	1,462
合計	36	283kg	386,633	1,366

●最高価格雌 459,900 北国7-8 安美金 晴美
●最高価格去勢 575,400 北国7-8 福谷1 益美14

木材共販市況

径級	単価/石	備考
直材30cm上	6,000~6,800円	65年生以上含
同24~28cm	5,700~5,900円	50年生
同14~22cm	5,500~5,600円	50年生
同13cm下	3,100~3,200円	
曲り材	2,200~3,000円	

例年であると値上がりし始める時期であるが、今年に関しては駆け込み需要の反動で、製品の動向が極端に悪い。製品市況を大きく反映し、原木価格も下落した。

林業だより

木の日

十月八日は「木の日」。これは二十年ほど前に全国木材青壮年団体連合会が「十」と「八」を足すと「木」の字になることから唱えたといわれています。

それ以来、毎年木材団体が主催で国産材の需要拡大をねらいとして、全国各地で木に親しんでもらうための催しものが開かれています。

本県でも「ウッドウィーク（木の週間）あきた」を設定して、木と建築のふれあいパネル展や親子木工教室、木都・能代

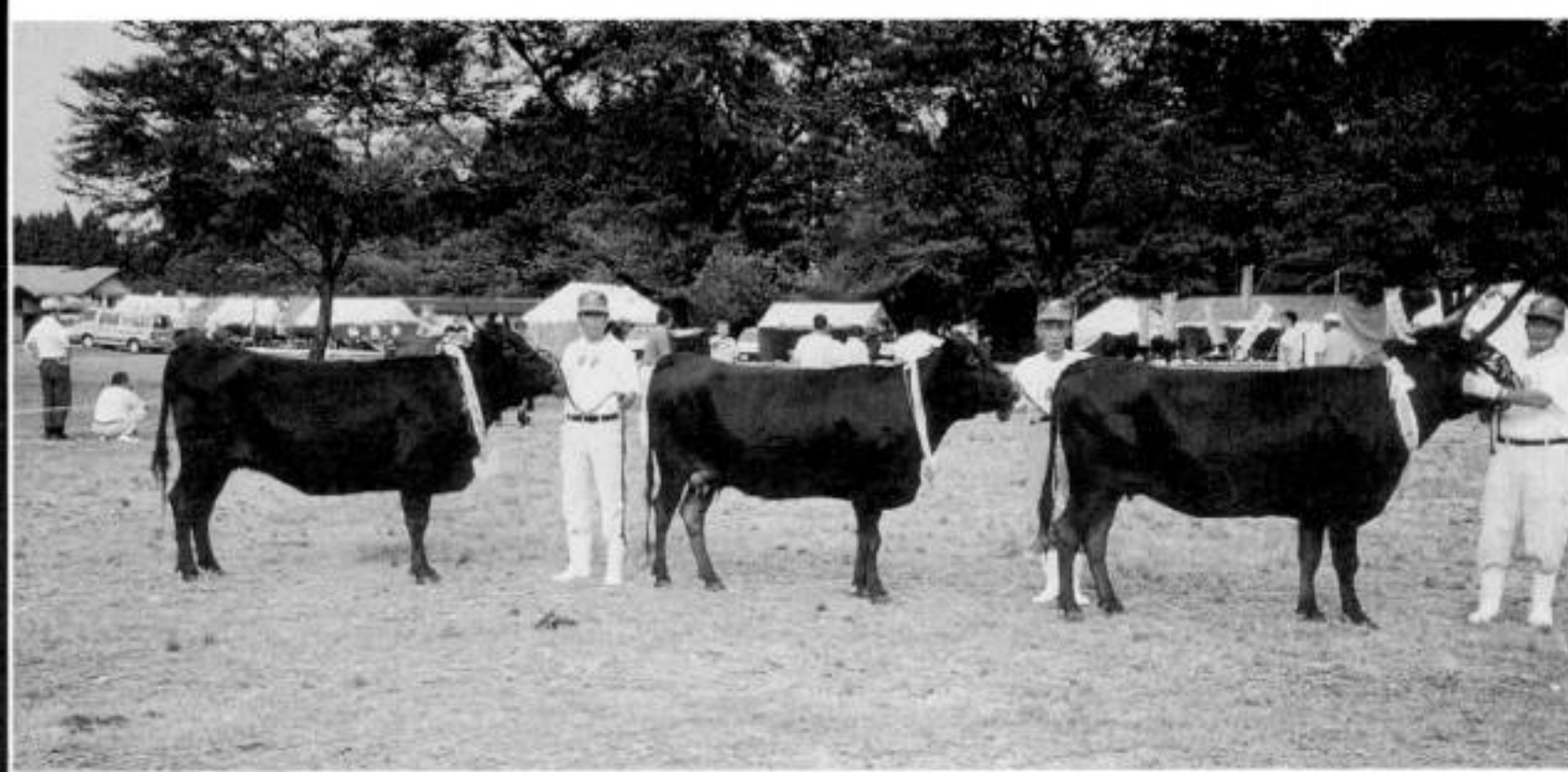
を訪ねるバスツアー、みどりのワンパク学校など森林、林業を知っていただき、木に親しんでもらう行事が各地で行われています。

木は私たちの生活に深くかかわっていて、木で住む家を造り、食べものは木の箸と木のお碗で食べ、着物は木の箱に収めるなど、衣・食・住のすべてにわたってふれあい「木の文化」をつくりあげてきました。

「木の日」に因んで森林を眺めてみてはいかがでしょう。

（町林業懇話会会長

佐藤恒悦氏）



▲県畜産共進会に出陳された選りすぐりの牛たち

「高橋宏幸賞」 童話感想文、感想画募集

童話は心のふるさとでありオアシスです。

大好きな童話を教えてください

おとぎ話や伝説・説話・ぐう話など、子供のための童話は読む人々の心を無限の世界に誘い、はてしない夢を育て、暖かく心に生き続けます。心と体、優しさと温かさ、人を思いやり、人として生きることの尊さを育んでくれるのは、子供時代の童話によることが多いのです。

東由利町出身の童話絵



▲昨年寄せられた作品から

本作家である高橋宏幸氏の業績を顕彰し、絵本と児童文学の振興、子供たちの読書意欲の高揚を目的に創設しました「童話秋田県コンクール」には、毎年、伸び伸びしたすばらしい作品が寄せられています。昨年度は二

千六百七十八点の応募がありました。

本年度も第六回として、秋田県全域の幼稚園・保育園（所）・小学校の児童を対象に童話を読んだ感想文と感想画を募る童話コンクールを実施します。

応募要項等は次のとおりです。

■応募要項■

童話を読んで、感想文または感想画を書いてください。

※高橋宏幸先生の作品以外も対象になります。

▼童話の感想文

応募資格／小学生

応募規定／B4判原稿用紙

(四〇〇字) 縦書き二枚以内

▼童話の感想画

応募資格／幼児(四歳以上)

小学生

応募規定／画用紙の大きさは四つ切り判(三八×五四)。

紙の種類は特に限定しない。

画材はクレヨン、絵具等自由。

絵のさしえ、カット等を写したものは対象外とします。

▼応募締切日

平成九年十一月二十日(木)

▼応募方法

当日消印有効

作品には作品応募票を必ず添付してください。

▼表彰

感想文、感想画の幼児・小学生ごとに賞状・賞品をさしあげます。

メルヘン賞一点・ファンタジー賞七点・ロマン賞五点・レインボー賞一六〇点

表彰式は十二月二十一日(日)を予定。

▼選考方法

高橋宏幸賞選考委員会で行います。

▼その他

応募された作品は原則としてお返しいたしません。詳細については、東由利町教育委員会

「高橋宏幸賞コンクール」係 電話〇一八四(六九)二三二一までお問い合わせ下さい。

公民館では十月末頃より、県立図書館とネットワークを結ぶシステムを導入します。

読みたい本が公民館図書館にないような場合、コンピュータで県立図書館と結び、検索、申し込みをして一週間ぐらいで公民館に本が届くシステムです。

お気軽にご利用ください。

読みたい本が県立図書館からあなたの元へ。

公民館では十月末頃より、県立図書館とネットワークを結ぶシステムを導入します。

読みたい本が公民館図書館にないような場合、コンピュータで県立図書館と結び、検索、申し込みをして一週間ぐらいで公民館に本が届くシステムです。

お気軽にご利用ください。

国税だより

奥さまと税について

パート収入は、通常、給与所得になります。したがってパートの年収が一〇三万円以下ですと、給与所得控除額(最低六五万円)を差し引いた残額が基礎控除(三八万円)以下となりますので、所得税はかかりませんし、配偶者控除を受けることもできます。

また、内職などの収入は、収入から必要経費を差し引いた残りが事業所得または雑所得となります。

ただし、家内労働者等または特定の人に対して継続して労務の提供をする人については、必要経費として六五万円(収入金額が限度です)を差し引くことができます。

したがって、収入が内職だけの場合は、パート収入と同様に年収が一〇三万円以下ですと、所得税はかかりませんし、配偶者控除を受けることもできます。

詳しくは最寄りの税務署や税務相談室にお尋ねください。



献血ありがとう「敬称略」

(一)内は献血回数九月十六日

【本庄下郷分校】佐藤こずえ

(2) 高橋ひとみ (1) 阿部一夫

(2) 小玉雅之 (13) 小野万里子

(2) 畠山奈美子 (4) 齋藤広子

(4) 横山牧子 (6) 畠山幸治

(2) 【秋田ルビコン】高橋ゆき子

(14) 大日向睦子 (16) 大庭和子

(11) 猪股友子 (12) 畑山千江子

(15) 遠藤由美子 (8) 吉田幸実

(25) 佐々木誠 (6) 杉野文子

(6) 小松正義 (17) 遠藤羊子

(16) 小松五緒子 (41) 【役場】小松聖明

(13) 小野信子 (13) 小松雄一

(8) 工藤恵 (5) 小松貢治

(9) 遠藤晃 (43) 阿部弘章

(55) 高橋和幸 (18) 佐々木信幸

(31) 阿部和規子 (2) 遠藤克幸

(20) 高沢稔 (8) 【農協】小松健

(38) 小松正二 (67) 小松淳子

(5) 成分献血協力者

【敬称略】八月二十八日

小松和美 高橋和幸 遠藤卓哉

小松貢治 小松正二 小松淳子

小松聖明 遠藤晃 高沢稔

小松長敬 佐藤和広 佐藤英之

小松雄一 国井修 小松和子

佐々木信幸

歓声の中、自然の豊かさを実感



八塩小学校
「水辺の教室」

「先生、こんな虫がいたよ」
八塩小学校で毎年行われている「水辺の教室」は今回で三回目。今年も九月九日に沖田橋（田代）付近の河原で行われました。

きれいかどうかは水にすんでいる虫で分かります」と子供たちに説明、その後、子供たちは一斉に歓声をあげながら川に入りました。

同校のふるさと学習の一環として、四年生以上の児童六十余名が参加しました。

川底の石を寄せて、石についている虫や川を流れてくる小さな生物を網ですくい、ルーペで観察するなど川の生物たちを見

現地での授業に先がけて、県水産振興センターの職員が講師になり、ビデオで水生生物の基礎知識を学びました。

その後、現地で、生物調査方法の説明指導。「川の水が



▲児童らにより高瀬川の生物調査が行われた

た。児童たちは普段見慣れた川に住む見慣れぬ生物の発見に、自然の豊かさを実感していました。

世界に一つの作品に感慨



炎と白煙が立ちのぼった野焼き

全県野焼きを楽しむ集い



▲完成した作品が掘り起こされる度に歓声が

「私の作品、うまく出来たぞ」第二十一回全県野焼きを楽しむ集いが、九月十八日、八塩こいの森で開催され、県内陶芸愛好家ら百六十人が野焼きを楽しみました。

したが、十八日の朝には曇り空ながら幸い雨もあがり、無事野焼きが行われました。

台風の影響もあり、当初予定されていた十七日の開催予定日が順延され、心配された集いで

今回、八塩小学校五・六年生も初めて参加、自分の作品を焼きあげました。

せめて、野焼きの間だけでも雨が降らないでとの祈りも空しく、野焼き終盤に雨が。あわや中止かと心配されましたが、役員らの努力により予定された時間を若干オーバーしたものの、無事焼き上がりしました。

世界に一つの作品が一点一点掘り起こされる度に、参加者の歓声があちこちから沸き上がっていました。

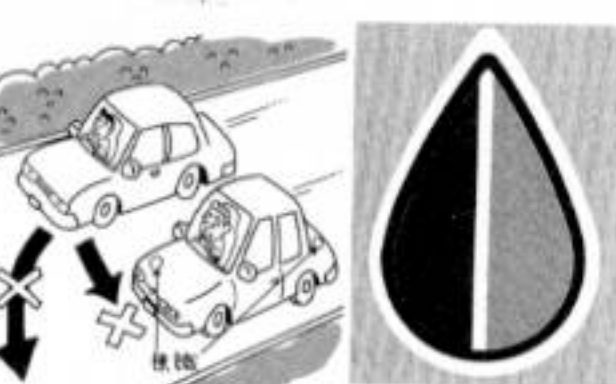
一部改正される

道路交通法

■高齢運転者の保護

高齢運転者の保護を図るため、七十五歳以上の高齢運転者で、自動車の運転に影響を及ぼす恐れがあると自らが判断した場合については、普通自動車の前面、及び後面に一定の標識を付けて普通自動車を運転するよう努めなければならないこととしました。

また、この標識をつけた自動車が割り込みをしてはいけません。



■高齢歩行者の保護

通行に支

障のある高齢歩行者が、道路を横断しようとしている場合に、高齢歩行者から申出があったときなど必要と認められる場合は、その場に居合わせた人は誘導・合図をするなどして、高齢歩行者が安全に横断できるように努めなければならないこととしました。

10月30日から施行

高齢者に優しい道路交通法に

ふるさとを唄い、二十五年

チャリティー民謡の祭典



▲25周年を迎えた民謡同好会

動へと、チャリティー目録が社会福祉協議会に渡されました。

同会は、二十五年の間、各地各種大会、イベントに参加、ふるさとへの思いを唄い続けてきました。昭和五十八年から六十二年にかけては岩手県特養ホーム慰問、平成四年には会員だった浅野竹美さんが浅野梅若さんへ弟子入り、平成六年からは東京東由利会総会出演、平成八年にはハンガリーで招待公演等町内外で幅広い活動を続けています。

「民謡は心のふるさと」といわれます。今後三十年、四十年と同会にはふるさとを唄い続けて欲しいものです。

昭和四十七年発足した東由利民謡同好会も今年で二十五周年を迎えました。この記念すべき節目の年に記念行事をと、チャリティー民謡の祭典が九月十三日に健康増進センターで開催され、町民ら六百余名が民謡を楽しみました。

当日は民謡同好会を始め、特別ゲストに本町出身浅野竹美さんを含めた秋田県民謡全国大会優勝者の皆さん、名古屋「遠友会」の皆さん、コールゆらり、高瀬カラオケ同好会などの方々が賛同出演、会を盛り上げました。出演者の唄が終わる度に盛んに拍手がおこられました。

また、収益の一部を社会福祉活



▲六百余名が楽しんだ民謡の祭典

東由利町ってどんな町かな

尾崎小学校五年、来町

「東由利町ってどんなところだろう」と本荘市尾崎小学校五年の児童三十五人が本町を訪れ、道の駅、ふれあいプラザ「ふれっそ」などを見学しました。

これは、社会学習の一環として、以前八塩小学校にいらした佐藤（旧姓後藤）千佳子先生が引率されて訪れたものです。

児童たちは日ごろ馴染みが薄い東由利町に興味しんしん。「住みよい町の条件はなんでしょう」など真剣に質問していました。



▲真剣に質問する児童たち

新鮮な空気を吸って健康に

第三回骨々健康教室



▲楽しみながら行ったペア体操

新鮮な空気をたくさん吸って健康にと、八月二十八日に八塩ダムで第三回骨々健康教室が行われ、町内の婦人の皆さん二十余人が参加、実技で汗を流しました。

当日は、寝たきり老人の原因疾患の一つでもある骨粗しょう症を予防するための方法の講話を受け、その後八塩ダムをゆっくりと一周、そして草の上に横たわりペアで体操を行いました。

気持ちのよい青空の下で、参加者たちは日ごろのストレスなどを充分解消していたようでした。

雨の中、白熱したゲーム

町スポーツ祭(ゲートボール)



▲参加者、皆楽しんだゲートボール

の結果、大琴Cチームと新町Cチームが決勝に進出しました。決勝戦は良い状態で競技をと、町民運動場からげんき館に場所を移動、接戦の結果、大琴Cチームが優勝を飾りました。

町スポーツ祭は、これで前半の二種目が終了、総合では新町自治会が九十七点で一位、横渡自治会が八点差でこれを追っています。しかしまだ三種目が残っているため、今後、その他各自治会の健闘が期待されます。

次回の町スポーツ祭は十月に行われる「グラウンドゴルフ・ペタシク」競技です。

神秘の島「バリ」へ

一万三千以上もの島々からなる多島国家インドネシア。二十七洲からなるこの国の一洲にあたるのがバリ島。今年も生の文化に触れ・体験を通じて海外を知る「東由利・大内町海外研修」が行われます。

■実施時期 十一月二十三日(日)から十一月二十九日(土)

■募集人員 七人

■資格 格 東由利町に居住している人で、満二十歳から五十五歳未満

■締切 十月十七日まで

■詳細は教育委員会生涯学習課 六九—二三—〇

里いもの花が咲いたヨ!

「八十年生きてきましたが花を初めて見ました」と話してくれたのは蔵新田の石渡安次郎さん(八四)です。

「何年か前に高戸屋で咲いたという話は聞きましたが、まさかこの目で見られるとは・・・」と感慨に浸っていました。

安次郎さんがこの花を見つけたのは、自宅前の畑です。

初めて見た花だけに珍しく、近所の人も驚いていたようでした。



▲初めて見た里いもの花にびっくりの石渡さん

ポパイ、社会人野球大会 今季完全制覇

町野球協会主催、秋田ルビコン株式会社協賛による、第四回秋季選抜野球大会が九月二十一日勤労者野球場で行われ、決勝戦でポパイスポーツクラブが野球狂を二対〇で下し、優勝しました。

これで同クラブは第二回大会から三連覇達成、また本年度協会で主催した社会人野球大会(ナイター野球、社会人野球、秋季選抜)全大会を制覇する快挙を成し遂げました。



▲喜びのポパイスポーツクラブ

東由利文化クラブ



4年
小笠原桃子さん



1年
高橋尚子さん



高橋孝聖くん (5歳)
新町 (孝紀さん)

虫歯

なんてない
も〜ん。

永慶保育園

()内は保護者



阿部文和くん (5歳)
小倉 (文造さん)



5年
伊東健司くん



5年
伊東祐平くん



佐藤和也くん (6歳)
中通 (栄夫さん)



高橋沙季さん (5歳)
十二ノ前 (京一)



福田一貴くん (4歳)
下通 (清一さん)



佐藤明良くん (5歳)
下通 (博之さん)



5年
阿部由佳さん



5年
小笠原 力くん



小野美咲さん (6歳)
新町 (孝悦さん)



畠山千尋さん (4歳)
大吹川 (誠さん)



遠藤温美さん (5歳)
小倉 (薫さん)



畠山卓也くん (5歳)
袖山 (和雄さん)



6年
佐藤 稔くん



6年
須田倫子さん

虫歯のなかった児童

高瀬小学校



爽かに一文字に置く舞扇
妻の忌やすがりて炎ゆる凌霄花
太悼の三昧の音ながるりんご村
朝顔の咲くにも上手下手ありぬ
秋の蝶老のまわりをまつわりぬ
秋の雲流るるさまを画布に置く
池に落つ音また一つくぬぎの実
ひぐらしの庭に夕餉の窓開く
団栗を握りしままに子の眠る

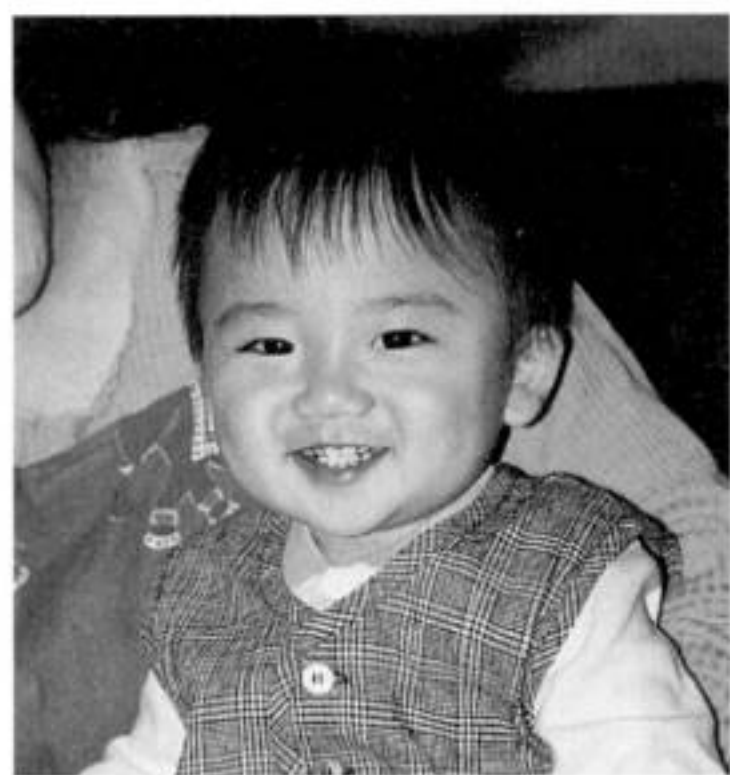
蔵新田 小野 貞子
久保 高橋 典三
湯出野 佐藤 正義
下小路 小松 女沙
湯出野 小松 徳蔵
蔵新田 小笠原亮子
船木 大庭喜右エ門
横小路 宮野源二郎
中通 小松順之助

東由利の文芸

せせらぎ句会

盆太鼓駆けてゆく子の鈴の下駄
闇に浮く踊り子の掌の裏表
熱の子に笛の音遠き秋祭
団栗を拾い孫へと山帰り
草の花命日の来る母の墓
手花火に浮ぶ母似の笑顔かな
草刈って集めておれば法師蟬
新涼の畳に拾ふ木綿針
秋うら母の名入りの小巾着
鳴きながら川こす蟬の日影かな
風紋の砂丘なくなく秋の風
団栗を宅急便に入れてやり
通院の秋風しみる停留所
団栗のお碗の並ぶおままごと

五海保 嶽石 レイ
横渡 高橋ヒデ子
小倉 遠藤トミ子
湯出野 菊地 常作
舟打場 高橋民治郎
時雨山 吉川 葉子
蔵新田 小笠原トミ
家ノ下 小松 正昭
上里 小野石路子
高戸屋 小松 敏雄
秋田市 嵯峨 義之
下通 小松 忠正
蔵 阿部 澄子
山崎 小松 良子



柳野 悠介くん (1歳)
お父さん:善健さん
お母さん:寿保子さん

【下小路】

活発で人見知りせず誰にでもなつく人気ものの悠介くん。この七月から町民の一員になりました。「朝、昼、晩とチャイムが鳴るとそれに合わせて踊りだします。性格は世話好きですね。誰に似たのでしょうか(笑)。

好きなものはすもう、民謡。テレビで放送するとじいちゃん(祖父の忠義さん)と二人で見えています。食べ物は何種類です。嫌いなものは獅子舞など鬼系の顔。食べ物では魚類です。

最近米びつに物を入れるので困っています。本人にしてみたら秘密の場所なんじゃないか。将来は元気で素直な人になって欲しいですね」

談・寿保子さん

虫歯のなかった生徒

下郷分校



1年

佐藤孝憲くん



2年

小松和紀くん



3年

小野和成くん



3年

鈴木美沙さん

体育行事を 終えようとする今

下郷分校 体育委員長
三年 佐藤孝子



昨年の十一月、生徒会役員改選が行われ、私は体育委員長になりました。今までみんなの先頭に立って何かをすることなどなかったし、それまで考えてもいなかったことなので、とてもプレッシャーを感じました。私に務まるのかと不安でいっぱいでした。けれども、今年の五月に実施し

たメイン行事の大運動会を終えた後、私にもできるのだなあと少しは思えるようになりました。



ただ、それは私ががんばったというよりも、多くの友達の励ましと協力が私をがんばらせてくれたのです。本当にみんなの協力のおかげです。

こうして一学期末の球技大会も無事成功させることができました。

残す行事は十月九日に行われる競歩大会だけになりました。充実した行事になるように、最後までしっかりと自分の役割を果たしていきたいと思っています。

この後、体育委員長を務める人には、現状に満足するのではなく、今までになかった新しい行事なども考えて、もっとみんなが参加しやすく、楽しめる行事を作っていくってほしいと思います。

童話を

あなたに

いずみさんがもりのからすの町に、それはとてもおいしいパンやさんがありました。ある日、かわいい四羽のあかちゃんが生まれておおよるこび。ところがあかちゃんが泣きだすと、あやしたりだいたり仕事以上に大忙し。そんなこんなでパンをだいたしにしたりし

むかしむかし

四

掘れ掘れ鳥コに

はげまされた源平さん

むかしむかし、大台に源平さんという若者が住んでいました。

源平さんは、耕す田畑が少ないので、沢水を利用して田んぼをおこしたり、野原や山の平らなところには豆畑をつくったり、毎日ねっしんに鎌を手にもっていました。

ある日のこと、近くの山すそに広がるよし谷地を見て、どうにかして田んぼに出来ないものかと思案顔していると、どこからともなく、これまで見たことのない一羽の鳥が飛んできました。源平さんの側にくると、何ともまた妙な鳴き声をたてるのでした。

源平さんの耳には「...源平さんや源平さん、よし谷地の中に黄金、ザクザク掘れ掘れ、掘れ掘れ」と、



人の声のように聞こえます。すっかりこの鳥に励まされた感じの源平さんは、朝早くから夜おそくまで、掘りおこしの仕事に精を出すのでした。

働きものの源平さんも、この頃少し疲れたようです。休んでいると、例の妙な鳥が飛んできて、「源平さんや源平さん、休まず掘れ掘れ、掘れ掘れ」と鳴きだします。

源平さんは、仕事の合間に一服しても「そろそろ掘れ掘れ鳥コが飛



からすのパンやさん

て、だんだんお客がなくなり貧乏になってしまいました。ある日こどもたちは、おやつにもっていった売れないパンをわけあげたところが好評。四羽の

子供も手伝ってパンがどんどんでき上がって、お客さんも前のようになくさんきてくれるのでした。このからすのこどもたちは毎日一生懸命働く親の背中を見てぞったんでしょね。友達に黒コゲのパンをばかにされても胸を張っていたんですから。きつと親の仕事に誇りを持っていたに違いないです。子供の目には親の姿がどんな風に見えているんでしょうか。●本紹介・小野邦子さん(宿)

んでくる頃だ。こないうちに仕事に取りかかろうか」とまた日暮れになるまで働くのでした。こうしたことがあってから源平さんは、この掘れ掘れ鳥コが飛んでくるのが毎日楽しみとなり、よし谷地の掘りおこしもどんどんはかどり、広い田んぼが出来あがりました。黄金千両は出ませんでした。秋には豊かな黄金の穂で波うつのでした。

源平さんは、田んぼに大事な水を貯える堤もつくることにしました。

あい変わらずどんな日も、一人で働いている源平さんです。そんな姿にうたれた村人は手助けするようになりました。

こうして助け合うみんなの力が実って、見事に出来あがり、この堤を源平堤とよんで若者の意気込みをたたえました。

(文と絵・

石渡力造氏・蔵新田)

10月▶データ東由利

〈8/1～/31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

■男……………2,599人 (2)
■女……………2,744人 (△2)
■計……………5,343人 (0)
■世帯数………1,398戸 (△3)

() は1月からの累計

・出生6人(26)・死亡4人(41)
・転入9人(67)・転出11人(84)

■火災出動……………0件 (2)
■救急出動……………6件 (80)
■交通事故……………1件 (11)
・死亡……………0人 (0)
・傷者……………1人 (13)
■飲酒運転……………0人 (0)
■酒気帯び……………0人 (3)

十月の行事予定

- 7 社会福祉協議会理事会
- 9 県老人クラブ大会 (県民会館)
- 10 体育の日
- 12 第37回奥羽横断駅伝
- 14 県福祉大会 (県民会館)
- 16 ことぶき大学
- 18 統計の日
- 18 東中祭
- 18 緑化推進植樹 (八塩いこいの森)
- 19 町スポーツ祭 (グラウンドゴルフ・ペタンク)
- 25 一人暮らし老人交流会 (湯楽里)
- 26 第5回東由利音楽祭 (中学校体育館)

ほっとひといき

「一身にして二生を経る」。平均寿命が延びた現代、たいていの人が定年後何年も生きることになり、人生の山が二つに増えました。つまりその分だれもが人生の達人でなければならない……。

これは江戸時代、50歳で隠居後、長年の念願であった天文学を学び、56歳から16年、日本を歩き尽くし、実測の日本地図を作り上げた伊能忠敬の生き方です。

長いようで短い人生。最後まで充実した生き方をしたいものだと最近特に思います (さ)

東由利

郷土の野草

NO.152

文・写真

小松忠正氏



ヤマオダマキ (キンポウゲ科)

日本全土の草原や林の縁などに生える多年草で、高さは三十〜五十センチメートルぐらいになります。根はやや太く暗褐色をしています。茎は褐紫色をして分枝しながら直立し、根葉は二回三出複葉で、上の方の小葉は二〜三裂して楔形になります。花は暗紫色で花弁の長い距の目立つ下向きの独特な花です。オダマキの和名は花の尾状の突起(距)が、昔、麻糸をたぐった糸巻器によく似ているのでいわれます。ときに花色の黄色のキバナノヤマオダマキもあるといわれています。

広報クイズ

問・今年の合同金婚式。何組のご夫妻が金婚を迎えたでしょうか。①四十

組②四十五組③三十八組。答えが分かった方ははがきに答え、住所、氏名、年齢、広報の感想などを書いて、東由利町役場広報まで。締切は十月三十一日です。前回の解答は「①ちりもつもれば山となる」でした。鈴木和子さん(宿)、小松リツさん(板戸)、佐藤フミさん(八日町)、小松公偉知さん(八日町)菊地竹一郎さん(静岡県)以上の方が当選しました。



戸籍の窓口

(8月21日〜9月20日届出)

●お誕生おめでとう

高橋 省吾くん(重保) 須郷田
小野 謙太郎くん(美紀子) 須郷田
高橋 翔奈さん(美樹) 須郷田
高橋 啓汰くん(京一) 須郷田

●結婚おめでとう

柏倉 修治さん 横手市
小松 美咲さん 久保

●こめい福をお祈りいたします

阿部興七郎さん(83・勲・祖父) 岩館
阿部亮一郎さん(77・シズエ・夫) 小倉
小松 一也さん(27・茂・長男) 横小路

町の宝もの

第66回

水準点はその土地の高さを正確に測量して示した標識で、主要道路沿いの約二キロメートルごと(一〇七号は明治末)に水準標石が埋められました。本町には国道一〇七号沿いに次の七箇所が五万分の一の地図上に見えます。



標石場所	高さ(m)
畑村	67.1
大琴	74.8
蔵	94.2
西ノ浜	116.3
前田	122.6
久保	146.9
板戸	213.8

※それぞれの地内にあります。

水準点(畑村地内他)

日本の高さの測量の基準点は、東京永田町の尾崎記念館わきにあつて、東京湾の中等潮位面から二十四・四メートルの高さです。

水準点には一等と二等があり、本町の七点はいずれも二等で、写真は畑村地内のもの。地表から三十センチの深さにある水準点上部の標識です。

文・畑山昭一氏